

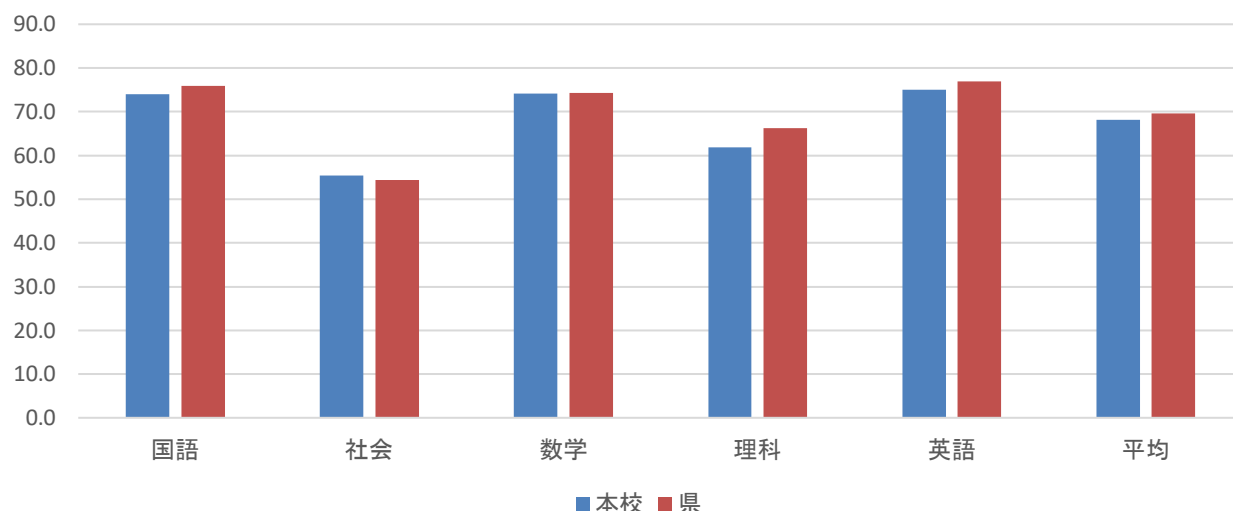
令和5年度 鹿児島学習定着度調査結果分析

令和6年2月27日速報値

1 1年

(1) 各教科の平均通過率

1年 各教科の平均通過率



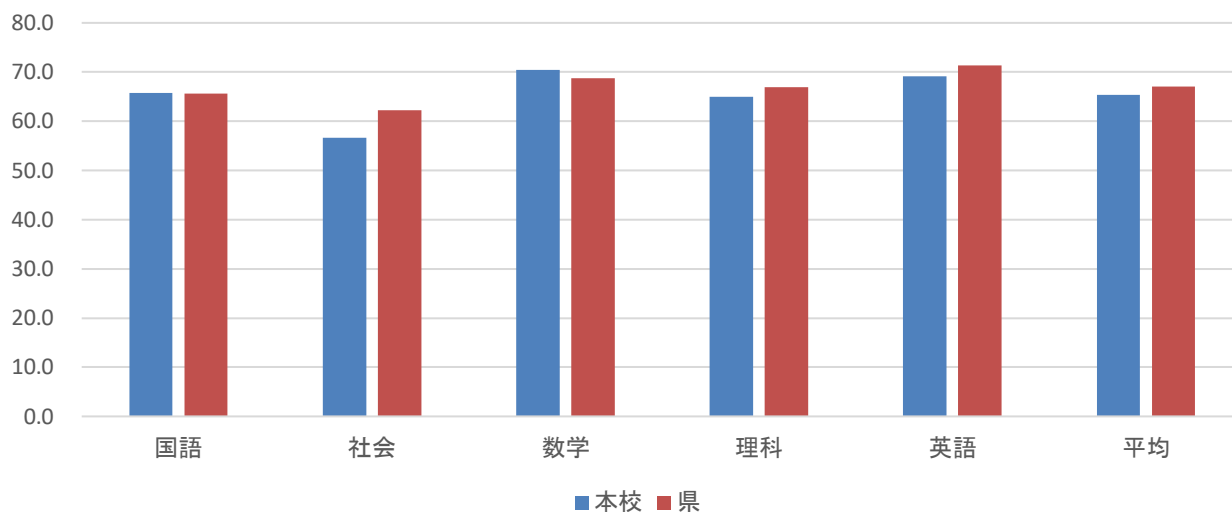
(2) 課題 (△) と改善策 (■)

国語	<p>△ 観点別通過率では「知識・技能」がわずかに下回っており、領域別では、「書くこと」が大きく下回っている。まず、何を書けばよいのか問題から読み取れていない。</p> <p>■ 問題文をよく読み、求められていることを理解してから答えを作るという順番を習慣づけたい。何事もじっくり取り組むことができないので、訓練が必要である。</p>
社会	<p>△ 基本的な内容が十分理解できていない。特に地理に課題がある。</p> <p>■ 地理は地図中心に取り組み、苦手意識を克服したい。</p>
数学	<p>△ 領域別通過率では、「図形」と「データの活用」が、70%に達することができなかった。特に「データの活用」で、適切な代表値を選ぶ問題の正答率が極端に低かった。</p> <p>■ 「データの活用」は、今から中1でも学習するので、理解が深まるように理由まで考えさせながら学習させる。その他も家庭学習等で定着させていきたい。</p>
理科	<p>△ 「思考・判断・表現」の問題が、平均を下回っている。記述式の問題も大きく下回っており、問題や情報を読み取り、説明することに課題がある。</p> <p>■ 問題を読み取り、説明する力がつくよう、繰り返し記述問題にも取り組む。</p>
英語	<p>△ 「読むこと」と「書くこと」の領域に課題がある。文量の多く、必要な情報を読み取れないことや、英作文時に語順や主語が抜けるといった間違いが多い。</p> <p>■ 様々な形式の英文を読み慣れること、速読の練習等を取り入れる。基本文を用いて、簡単な英語で伝える英作文が書けるように指導を工夫する。</p>

2 2年

(1) 各教科の平均通過率

2年 各教科の平均通過率



(2) 課題 (△) と改善策 (■)

国語	<p>△ 漢字の読み書きの正答率が低かった。作文は無答率が高く、苦手としている生徒が多いのに加え、条件に合っていないものも多く見受けられた。</p> <p>■ 新出漢字だけでなく、既習漢字についても練習を繰り返して行い、定着を図る。作文については、授業や定期テスト等で書くことに慣れさせるほか、条件を確認して書くことを徹底させる。</p>
社会	<p>△ 歴史的事象について記述して説明することが苦手である。</p> <p>■ 一問一答式の問題だけでなく、記述式の問題にも取り組み、社会的事象について自分の言葉でまとめたり、説明したりする力をつけていく。</p>
数学	<p>△ 「思考力・判断力・表現力」の問題で正答率 50%の問題がほとんどだった。選択式の問題で各項の文章が長く、判断に迷う選択肢が多かった。多角的に物事をとらえる数学的思考力と、紛らわしい言葉に騙されない判断力が必要である。</p> <p>■ 文章問題に慣れさせる。</p>
理科	<p>△ 必要な情報を読み取り、それをを用いて答えを導くことが苦手である</p> <p>■ 練習問題に取り組み、必要な情報を読み取る力をつけていく。</p>
英語	<p>△ 「話すこと・書くこと」の表現することを苦手としている。特にまとまりのある英作文では、内容はある程度よいが、正確さに欠けていたり、指示された語数に足りなかったりしている。</p> <p>■ 聞いたり読んだりした表現を使って、書けるようにする。また表現活動（話す・書く）活動を通して、表現力を高めていく。</p>